令和４年６月 27 日
一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

ヒートポンプ・蓄熱システムは、省エネルギーと脱炭素社会の実現に貢献するキーデバイス
～『ヒートポンプ・蓄熱月間』がスタート～

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター（東京都中央区、理事長：小宮山 宏）では、ピーク電力削減、省エネルギー性・環境性に優れているだけでなく、”脱炭素社会の実現”にも貢献し、災害時の蓄熱槽水利用でレジリエンスな街づくりや再生可能エネルギー主力時代の電力系統オペレーションにも対応できる「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及促進と技術向上を目的に事業を行っています。

こうした中、冷房需要が本格化する毎年 7 月を『ヒートポンプ・蓄熱月間』と定め、各省庁・関係諸団体のご後援・ご協賛のもと、産官学一体となり、様々な活動を実施してきました。

25 年目を迎える本年も、これまでと同様、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及拡大にご貢献いただいた企業・団体への感謝状（盾）の贈呈をはじめとした活動を展開してまいります。

１．期間

令和４年７月１日（金）～令和４年７月 31 日（日）

２．活動内容

① ヒートポンプ・蓄熱システムの普及にご貢献いただいた 48 企業・団体への感謝状（盾）を贈呈

《贈呈先は参考資料２をご参照ください》

② ヒートポンプ・蓄熱シンポジウムの開催

ヒートポンプ・蓄熱システムの運転管理の更なる向上に向け、特に優秀な蓄熱システムの設備、運転管理に関わる改善事例の発表を中心に、設備オーナーならびに空調設備に関係される設計者、施工技術者、および運転管理者の方々を対象に開催します。

《詳細は参考資料１をご参照ください》

③ 電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナーの開催

電力負荷平準化・省エネルギーの重要性等を訴求し、それに役立つヒートポンプ・蓄熱システムの普及促進に資するセミナーを金沢市（7/15）で開催します。

④ ヒートポンプ・蓄熱システム先進導入事例セミナー・施設見学会の開催

マスコミやユーザー等のヒートポンプ・蓄熱システムに対する理解促進と認知度向上を目的として、先進事例の採用ユーザーによる講演や設備見学をつくばみらい市（7/7）で開催します。

⑤ 『ヒートポンプ・蓄熱月間』リーフレットの作成・配布

「ヒートポンプ・蓄熱月間」中の活動内容やピーク電力削減効果や省エネ・省 CO_2 効果等について、分かりやすく説明したリーフレットを配布。

《詳細は参考資料２をご参照ください》

⑥ インターネットホームページにて告知

当センターホームページにて、『ヒートポンプ・蓄熱月間』の告知

《 https://www.hptcj.or.jp/ 》

３．後援・協賛一覧

「ヒートポンプ・蓄熱月間」では趣旨にご賛同をいただいた以下の関係省庁・団体からご後援・ご協賛を賜っております。

【後援】（11 省庁、3 国立研究開発法人）

経済産業省、警察庁、総務省、法務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省
国土交通省、環境省、防衛省、国立研究開発法人 国立環境研究所
国立研究開発法人 産業技術総合研究所、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

【協賛】（43 団体）

（一財）エネルギー総合工学研究所、（公社）空気調和・衛生工学会、
（一財）住宅・建築 SDG s 推進センター、（一社）建築設備技術者協会、（一社）建築設備綜合協会、
（一財）建築保全センター、（一社）公共建築協会、（一社）住宅生産団体連合会、
（一財）省エネルギーセンター、（公社）全国ビルメンテナンス協会、電気事業連合会、
（一社）電気設備学会、（一財）電力中央研究所、東京商工会議所、
（一財）日本エネルギー経済研究所、（一社）日本エレクトロヒートセンター、（公財）日本環境協会、
（一社）日本機械学会、（一社）日本経済団体連合会、（一社）日本建設業連合会、
（一社）日本建築学会、（一財）日本建築センター、日本商工会議所、（財）日本消費者協会、
（公社）日本青年会議所、（一社）日本設備設計事務所協会連合会、（一財）日本地域開発センター、
日本チェーンストア協会、（一社）日本電機工業会、（一社）日本電設工業協会、
（公社）日本都市計画学会、（一社）日本百貨店協会、（一社）日本病院会、
（一社）日本ビルエネルギー総合管理技術協会、（一社）日本ビルヂング協会連合会、
（公社）日本ファシリティマネジメント協会、（公社）日本冷凍空調学会、（一社）日本冷凍空調工業会、
（一社）日本冷凍空調設備工業連合会、（一社）不動産協会、（一社）文教施設協会、
（一財）ベターリビング、（公社）ロングライフビル推進協会
（五十音順）

以上

（添付資料）

《参考》ヒートポンプ・蓄熱システムについて
《参考資料１》「ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」イベント取材のご案内
《参考資料２》「ヒートポンプ・蓄熱月間」リーフレット

＜お問い合わせ先＞
一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 業務部　廣津
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町 1 丁目 28 番 5 号 ヒューリック蛎殻町ビル 6 階 TEL.03-5643-2402 FAX.03-5641-4501

《別紙》

ヒートポンプ・蓄熱システムについて

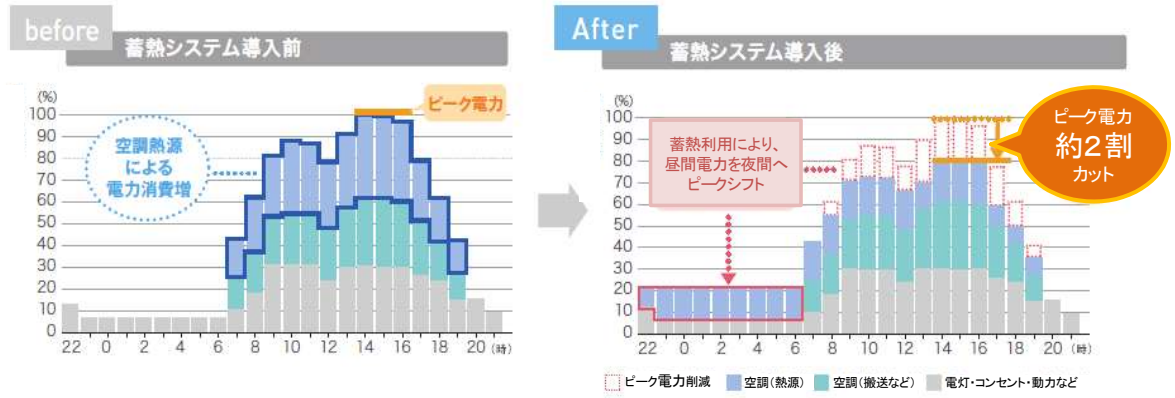
＜ヒートポンプ・蓄熱システムで「夏のピーク電力を削減」＞

経済産業省は、2022 年度夏季は、7 月の東北・東京・中部エリアにおいて予備率 3.1%と非常に厳しく、冬季は、1 月、2 月に全 7 エリアで安定供給に必要な予備率 3%を確保できず、東京エリアはマイナスの予備率と特に厳しい見通しであることから、ライフスタイルの見直しや事業オペレーションの工夫等を通じて、通常の国民生活や経済活動における省エネ・節電の取り組みの進展を図るため、熱中症予防に留意した具体的な行動メニューの作成・周知・広報を行うとともに、国民各層に節電思考・行動を喚起するためのイベント等を実施する。

また、産業界等に対し、エネルギー消費効率の高い設備や機器への更新を促すとしている。

このような課題を解決する方法として、ヒートポンプ・蓄熱システムの効率的な運用は、大いに役立つものと考えております。

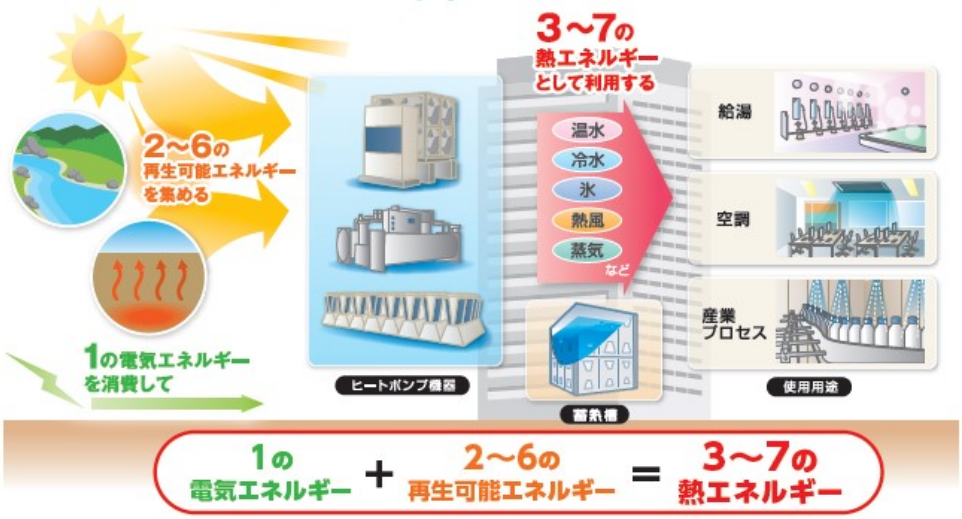
＜事務所建物のモデルケース＞



＜ヒートポンプ・蓄熱システムで「省エネルギー」と「脱炭素社会の実現」に貢献＞

我が国では、「2050 年カーボンニュートラル」を掲げ、温室効果ガスの削減に向けて大胆に取り組むとする中、日本の 2030 年度の温室効果ガス削減目標を「2013 年度から 46%削減し、さらに 50%の高みに向け挑戦を続けていく」と宣言しました。この目標を実現するため、再生可能エネルギーの主力電源化とヒートポンプ等の技術を活用した脱炭素化を目指す将来像が示されており、ヒートポンプ・蓄熱システムによる電気や熱のマネジメントに大きな期待が高まっています。

このような中、効率水準・汎用性が高く、空気熱・地中熱・河川水熱などの再生可能エネルギーを利用できるヒートポンプ・蓄熱システムの活用は、こうした課題の解決に貢献できるキーデバイスと考えております。



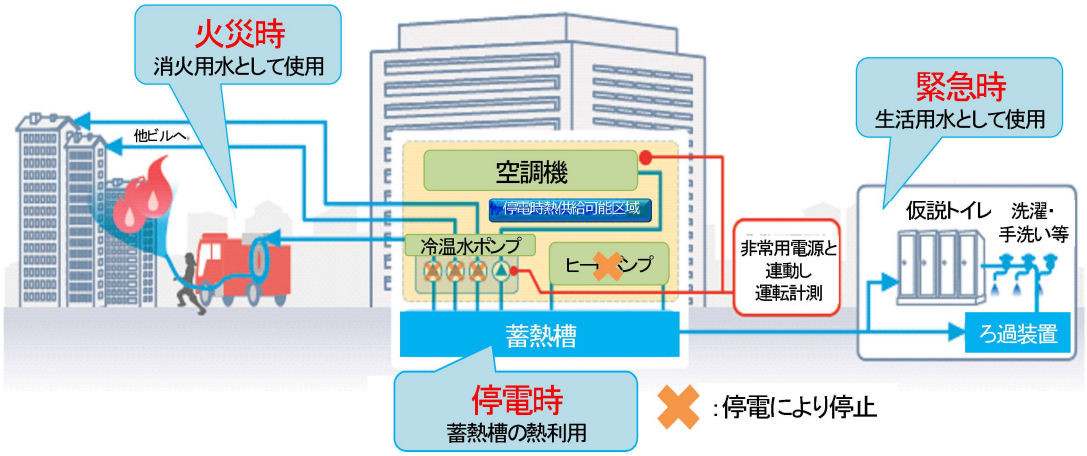
ヒートポンプ機器は電気エネルギーだけでなく、空気や水などから自然の熱（再生可能エネルギー）を「集めて」熱を作るため、高効率な運転が可能です。

《別紙》

＜非常時の蓄熱槽水利用でレジリエンスな街づくり＞

エネルギーと共に”水”の確保は、災害時の重要課題の一つです。ヒートポンプ・蓄熱システムの蓄熱槽に蓄えた水は、非常災害時にトイレなどの生活用水や火災時の消防用水として利用することができ、レジリエンス（強靭）な街づくりの一翼を担うと考えております。

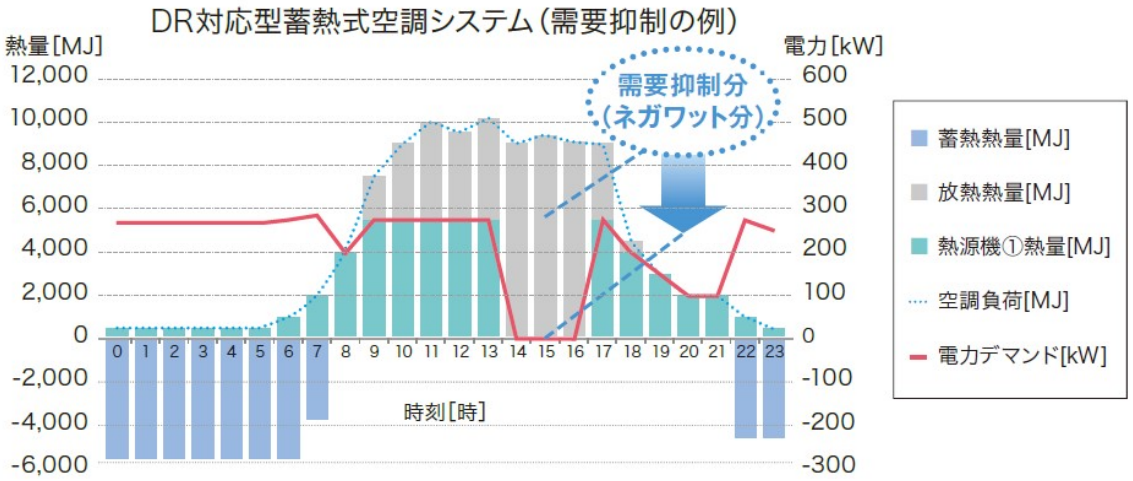
＜蓄熱槽水の利用イメージ＞



＜再生可能エネルギー主力時代の電力系統オペレーションに対応＞

持続可能な社会の実現には、再生可能エネルギーの主力電源化が必要ですが、「自然環境に応じて出力が変動する」という特徴に応じた対策が必要です。その対策の一つがディマンドリスポンス（ＤＲ）。需要家側設備を制御し、電力需要パターンを変化させることです。

ヒートポンプ・蓄熱システムは、電気エネルギーを効率よく熱エネルギーに変換・蓄積し、必要な時に取り出すシステムであることから、ＤＲへの活用が期待されています。



以　上

（参考資料１）
2022 年 6 月 27 日
一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

≪イベント取材のご案内≫

『ヒートポンプ・蓄熱 シンポジウム』開催

「ヒートポンプ・蓄熱システム」の“運転管理面”などから優れた４事例を表彰

7月20 日(水) 13:00～17:25 「国際ファッションセンタービル 3F KFC Hall」

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターでは、ピーク電力削減や省エネルギー、CO_2 排出量削減に貢献する「ヒートポンプ・蓄熱システム」の“運転管理”において優れた改善をあげた事例を発表する『ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』を、7 月 20 日（水）、「国際ファッションセンタービル 3階 KFC Hall（東京都墨田区）」にてWEB併用で開催します。

「ヒートポンプ・蓄熱システム」は、電力需要の少ない夜間に効率の良いヒートポンプ機器で水や氷に熱を蓄え、昼間の空調などに活用し、ピーク電力（昼間の電力）の削減と省エネルギー、CO_2 削減を同時に達成できるシステムです。しかし、同システムは、“導入すれば完了”ではなく、その能力が最大限に発揮されるよう、システムが常に最適な状態で運転されるためのたゆまぬ維持・改善が必須です。

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターでは、この度、「ヒートポンプ・蓄熱システム」の運転管理、運用、設備の改良などにより改善のあった事例とヒートポンプ・蓄熱システムの運用によるピーク電力削減や非常災害時の対応などの有効活用事例及び未利用エネルギーを活用したヒートポンプシステムの運用改善事例を広く募集し、優秀な 4 事例を表彰することとしました。これに伴い、『ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』を開催し、それらの事例に関する発表を行います。この表彰の取り組みと、シンポジウムの開催は、本年で 19 回目となり、今回も、設備オーナーをはじめ、多くの設計、施工、運転管理者が参加する予定です。また、大阪大学大学院ビジネスエンジニアリング専攻 招聘教授 西村 陽氏からの「電気利用の次世代イノベーション～電化の歩みを振り返り、進化の方向を考える」と題した特別講演の他、「ヒートポンプ・蓄熱システムの今後の役割～カーボンニュートラルの実現に向けて～」というテーマで、芝浦工業大学 建築学部長 教授 秋元 孝之 氏をコーディネーターに、ディベロッパー、設計会社、ゼネコン、をパネリストとしたパネルディスカッションも予定しています。

◆ 入賞事例

東京スカイツリー®地域熱供給施設	無薬注型防食システム導入による蓄熱槽水の水質改善
JA北海道厚生連帯広厚生病院	熱回収ヒートポンプの運用改善によるシステムCOPの向上
古河電池株式会社いわき事業所	投込み式ヒーターから高効率HPへの省エネ改修事業
中国電力株式会社小町1号館	水蓄熱系統熱交換器廻り制御改修等による水蓄熱槽温度状況改善

つきましては、本シンポジウムを報道関係の皆様に是非ご取材いただきたく存じます。
ご多用中とは存じますが、ご出席賜りますようよろしくお願いいたします。

（参考資料１）

『第 19 回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』に関する概要

日　時	2022 年 7 月 20 日（水） 13 時 00 分～17 時 25 分　（受付 12 時 30 分開始）		
会　場	国際ファッションセンタービル　3階　KFC　Hall　（東京都墨田区横網一丁目6番1号）		
交　通	都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出口直結 JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分、西口より徒歩約7分		
内　容 （予定）	主催者挨拶	13:00～ 13:10	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 専務理事　浅井　亨
	特別講演 『電気利用の次世代イノベーション』	13:10～ 14:20	大阪大学大学院ビジネスエンジニアリング専攻 招聘教授　西村　陽　氏
	休憩	14:20～ 14:25	
	改善事例の受賞者紹介	14:25～ 14:30	
	優秀改善事例発表	14:30～ 15:50	・東京スカイツリー®地域熱供給施設 ・JA北海道厚生連帯広厚生病院 ・古河電池株式会社いわき事業所 ・中国電力株式会社小町1号館 の4事例を発表
	休憩	15:50～ 16:00	
	パネルディスカッション 『 ヒートポンプ・蓄熱システムの 今後の役割 』	16:00～ 17:20	コーディネーター: 芝浦工業大学　建築学部長 教授　秋元 孝之　氏 パネリスト: 三菱地所（株）スマートエネルギーデザイン部 部長　鯉渕　祐子　氏 （株）日本設計　第2環境・設備設計群 副群長　竹部　友久　氏 清水建設（株）　設計本部設備設計部2部 グループ長　髙橋　満博　氏
	閉会挨拶	17:20～ 17:25	シンポジウム運営委員会 委員長　柳井　崇　氏
お問合せ先	一般財団法人　ヒートポンプ蓄熱センター　蓄熱技術部　：　梅辻　　TEL :03-5643-2403		

※なおシンポジウムの開催に先立ち、表彰式（関係者のみ）を開催いたしますので、ご都合がよろしければ、合わせてご取材をお願いいたします。

◆ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例　表彰式
7月20日（水）11:00～11:30（関係者集合時間10:45）、 国際ファッションセンタービル11階 Room115

（参考資料１）

FAX 送付先　03-5641-4501

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター 蓄熱技術部 ： 梅辻 宛

『第19回ヒートポンプ・蓄熱 シンポジウム』

日時: 7月20日（水） 13 時 00 分～17 時 25 分

会場:国際ファッションセンタービル 3階 KFC Hall

シンポジウムの一部に参加する場合は、下記に〇印をご記入下さい（全てご出席の場合は不要です）

	特別講演	13:10～14:20
	改善事例の受賞者紹介	14:25～14:30
	優秀改善事例発表	14:30～15:50
	パネルディスカッション	16:00～17:20

※シンポジウムに加え、表彰式にご参加頂ける場合には、下記に〇印をご記入ください。

	ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ・蓄熱ｼｽﾃﾑ運転管理等の改善事例 表彰式 （国際ファッションセンタービル 11階 Room115）	11:00～11:30

貴 社 名 ：
貴 媒 体 名 ：
貴 部 署 名 ：
役　　職 ：
ご 芳　名 ：
T　E　L ：
F　A　X ：
E－m a i l ：

ありがとうございました。

お手数ですが、本票を**7月13日(水)までに FAX または、下記E-mailアドレスまで**お送りくださいますようお願い申し上げます。 E-mail：umetsuji.takuya@hptcj.or.jp

《参考資料２》

7月は ヒートポンプ・蓄熱月間

2022

カーボンニュートラル実現への切り札
「ヒートポンプ・蓄熱システム」

主催：一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター／ヒートポンプ・蓄熱月間実行専門委員会

後援：経済産業省／警察庁／総務省／法務省／外務省／文部科学省／厚生労働省／農林水産省／国土交通省／環境省／防衛省／国立研究開発法人 国立環境研究所／国立研究開発法人 産業技術総合研究所／国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

協賛：一般財団法人 エネルギー総合工学研究所／公益社団法人 空気調和・衛生工学会／一般社団法人 建築設備技術者協会／一般社団法人 建築設備綜合協会／一般財団法人 建築保全センター／一般社団法人 公共建築協会／一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター／一般社団法人 住宅生産団体連合会／一般財団法人 省エネルギーセンター／公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会／電気事業連合会／一般社団法人 電気設備学会／一般財団法人 電力中央研究所／東京商工会議所／一般財団法人 日本エネルギー経済研究所／一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター／公益財団法人 日本環境協会／一般社団法人 日本機械学会／一般社団法人 日本経済団体連合会／一般社団法人 日本建設業連合会／一般社団法人 日本建築学会／一般財団法人 日本建築センター／日本商工会議所／一般財団法人 日本消費者協会／公益社団法人 日本青年会議所／一般社団法人 日本設備設計事務所協会連合会／一般財団法人 日本地域開発センター／日本チェーンストア協会／一般社団法人 日本電機工業会／一般社団法人 日本電設工業協会／公益社団法人 日本都市計画学会／一般社団法人 日本百貨店協会／一般社団法人 日本病院会／一般社団法人 日本ビルエネルギー総合管理技術協会／一般社団法人 日本ビルヂング協会連合会／公益社団法人 日本ファシリテイマネジメント協会／公益社団法人 日本冷凍空調学会／一般社団法人 日本冷凍空調工業会／一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会／一般社団法人 不動産協会／一般社団法人 文教施設協会／一般財団法人 ベターリビング／公益社団法人 ロングライフビル推進協会

ヒートポンプ・蓄熱システムで、

冷房需要が本格化する毎年7月を「ヒートポンプ・蓄熱月間」と定め、ピーク電力削減、省エネルギー性・環境性に優れ、非常災害時には蓄熱槽水を消防用水や生活用水として活用することができる「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及促進と技術向上を目的に産官学が一体となり、感謝状（盾）贈呈やシンポジウム開催などの活動を展開しています。

脱炭素社会を実現するヒートポンプ・蓄熱システム

我が国では、「2050年カーボンニュートラル」を掲げ、温室効果ガスの削減に向けて大胆に取り組むとする中、今年4月、菅総理大臣は、日本の2030年度の温室効果ガス削減目標を「2013年度から46%削減し、さらに50%の高みに向け挑戦を続けていく」と宣言しました。この目標を実現するため、再生可能エネルギーの主力電源化とヒートポンプ等の技術を活用した脱炭素化を目指す将来像が示されており、ヒートポンプ・蓄熱システムによる電気や熱のマネジメントに大きな期待が高まっています。こうした中、25回目を迎える令和4年度のヒートポンプ・蓄熱月間においても、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に向けた以下の活動を展開してまいります。

ヒートポンプ・蓄熱月間における主な活動内容

活動内容 1　ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に貢献いただいた企業・団体への感謝状（盾）贈呈

さまざまなお立場からヒートポンプ・蓄熱システムの普及にご尽力いただいた企業・団体の皆さまに感謝状を贈呈しています。今年は、「ヒートポンプ・蓄熱普及貢献賞」「特別感謝状」あわせて48企業・団体の皆さまに贈呈させていただきます。

感謝状（盾）

活動内容 2　「第19回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」の開催

“ヒートポンプ・蓄熱システム”の運転管理の更なる向上に向け、特に優秀な蓄熱システムの設備、運転管理に関わる改善事例の発表を中心に、設備オーナー、ならびに空調設備に関係される設計者、施工技術者、および運転管理者の方々を対象に開催します。

表彰式、シンポジウム

日時　令和4年7月20日（水）13:00~17:25

場所　国際ファッションセンタービル(KFC Hall)

見学会

日時　令和4年7月21日（木）10:00~12:30

場所　早稲田大学33号館、37号館（早稲田アリーナ）

特別講演

電気利用の次世代イノベーション

～電化の歩みを振り返り、進化の方向を考える～

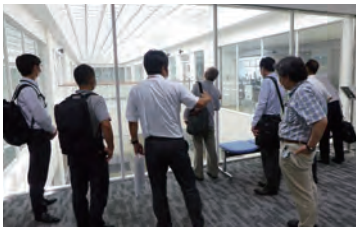
大阪大学大学院工学研究科
ビジネスエンジニアリング専攻　招聘教授　**西村　陽**氏

※講演者および講演内容については、変更になる場合がございます

第16回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウムの様子

活動内容 3　「電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナー」の開催

電力負荷平準化・省エネルギーの重要性等を訴求し、それに役立つヒートポンプ・蓄熱システムの普及促進に資するセミナーを金沢市（7/15）で開催します。


採用事例施設見学会の様子

活動内容 4　「ヒートポンプ・蓄熱システム先進導入事例セミナー・施設見学会」の開催

マスコミやユーザー等のヒートポンプ・蓄熱システムに対する理解促進と認知度向上を目的として、先進事例の採用ユーザーによる講演や設備見学をつくばみらい市（7/7）で開催します。

活動内容 5　告知・PR

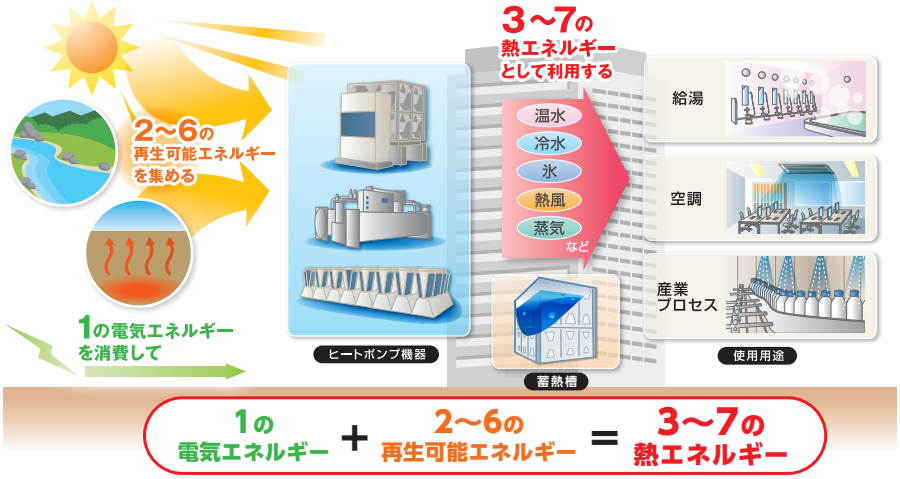
リーフレット、ホームページやメルマガにより、「ヒートポンプ・蓄熱月間」の紹介とともに、ヒートポンプ・蓄熱システムのピーク電力削減効果に加え、省エネルギー・省CO_2効果ならびに蓄熱槽水の非常災害時活用としてのレジリエンス、蓄熱槽を活用したディマンドリスポンスについて訴求します。また、今回はメディアを活用した普及啓発などを実施します。

※昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえ、シンポジウム・セミナー等は中止しました。

環境と未来の暮らしを守る！

ヒートポンプ・蓄熱システムについて

ヒートポンプ・蓄熱システムはさまざまな場面で活躍しています!



ヒートポンプ機器は、熱と圧力の性質を利用して、空気をはじめ河川や地中、海水などの自然の熱※（再生可能エネルギー）を「集めて」、必要なところに「運ぶ」ことによって、冷房・暖房や給湯をはじめ、工場の製造工程などにも利用されています。また、蓄熱槽と組み合わせることにより、ピーク電力削減と省エネルギーを同時に実現することができます。

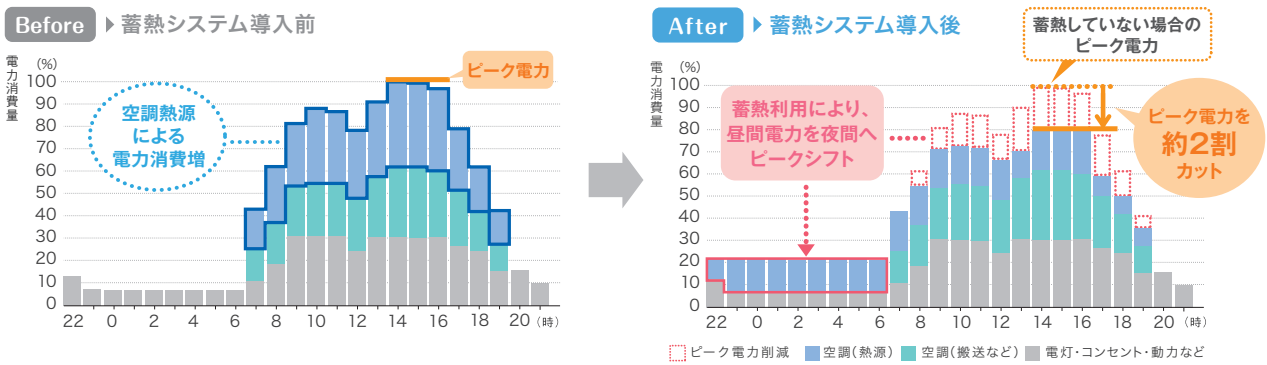
※太陽によって、くり返し暖められる再生エネルギーなので、燃料消費量やCO_2排出量を大幅に削減することができます。

ヒートポンプ・蓄熱システムのメリット

メリット 1 快適に空調を利用しながらピーク電力が削減できます!

ヒートポンプ・蓄熱システムによって、昼間の冷房に必要な冷熱の半分を夜間に「蓄えた」冷水や氷で賄った場合、事務所建物のモデルケースにおいては、冷房をいつも通りに使用しても建物全体のピーク電力を約2割カットすることができます。

〈事務所建物のモデルケース〉

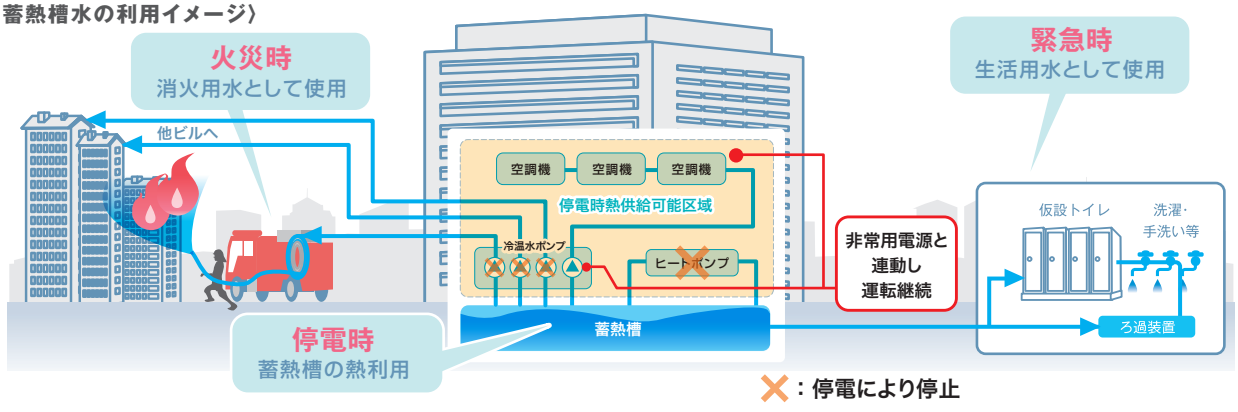


メリット 2 非常災害時には生活用水や消火用水として利用できます!

蓄熱槽に蓄えた水は、非常災害時において、トイレや手洗いなどの生活用水や火災時の消火用水として利用することができます。さらに、災害時に停電となった場合でも、蓄熱槽が保有する熱を利用することにより、冷暖房を行うことができます。

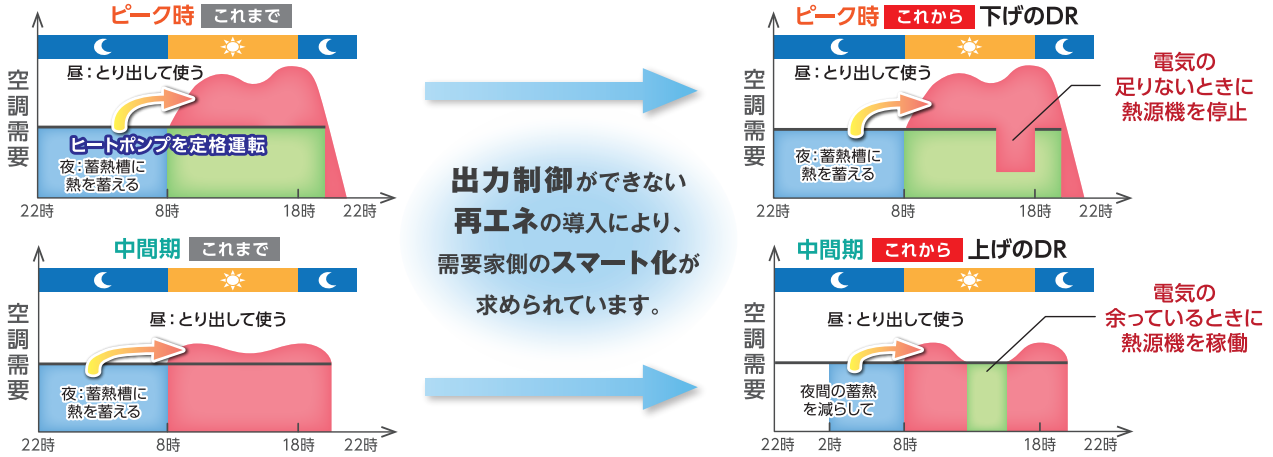
建築物省エネ法における誘導措置（平成28年4月施行）においては、性能向上計画の認定を受けた場合、容積率特例などのメリットを受けることができます。（容積率特例の対象設備として蓄熱設備が含まれています。）

〈蓄熱槽水の利用イメージ〉



蓄熱の新しい使い方

再生可能エネルギー主力時代の電力系統オペレーションに対応
再生可能エネルギーの有効活用で経済的で持続可能な社会を実現!



〈ヒートポンプ・蓄熱システムによるDR活用イメージ〉

蓄熱システムの柔軟な運用がディマンドリスポンスのカギ

持続可能な社会の実現には、再生可能エネルギーの主力電源化が必要ですが、「自然環境に応じて出力が変動する」という特徴に応じた対策が必要です。その対策の一つがディマンドリスポンス（DR）。需要家側設備を制御し、電力需要パターンを変化させることです。ヒートポンプ・蓄熱システムは、電気エネルギーを効率よく熱エネルギーに変換・蓄積し、必要な時に熱を取り出すシステムであることから、DRへの活用が期待されています。

補助金のご案内

先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金　設備区分：産業ヒートポンプ

生産性及び省エネルギー性の高い産業ヒートポンプの導入に要する設備費の一部を補助する制度です。

対象となる高効率ヒートポンプ

①空冷ヒートポンプチラー（温水利用）
②循環加温式ヒートポンプ
③温水ヒートポンプ（熱回収・水熱源）
④熱風ヒートポンプ
⑤蒸気発生ヒートポンプ
⑥施設園芸用ヒートポンプ

※補助対象となる設備の基準は公募要領参照

補助対象事業の例

①既設のヒートポンプまたは燃焼式加熱設備等を産業ヒートポンプに更新
②燃焼式加熱設備等のプロセスへ産業ヒートポンプ設備を導入する プロセス改善

補助対象事業者

●国内で事業活動を営んでいる法人及び個人事業主（青色申告者）

但し、大企業は省エネ法の事業者クラス分け評価制度において『Sクラス』または『Aクラス』に該当する事業者、または中長期計画書の「ベンチマーク指標の見込み」に記載された2030年度(目標年度)の見込みがベンチマーク目標値を達成する事業者

補助金額

設備費に係る補助金額を算出し、その合計を事業全体の補助金額とします。

補助金額 ＝ 補助対象設備の加熱能力[kW] × 加熱能力当たりの補助金額[kW]

補助金額の上限額：1事業あたり 2,000万円以下
補助金額の下限額：1事業あたり 20万円

全体スケジュール

公　募	2022年6月6日（月）～2022年7月15日（金）
交付決定	2022年 8月下旬
事業期間	交付決定日から2023年2月14日（火）

申請 → 審査 → 交付決定 → 事業期間（発注 → 設置 → 検収 → 支払） → 事業完了 → 補助金お支払い

申請方法

●補助金申請システム（jGrants）による電子申請で受け付けます。

jGrantsの利用には、GビズID（gBizIDプライムまたはメンバー）が必要となります。

※GビズIDの取得には、1週間程度、提出書類に不備があると2～3週間程度の時間を要する場合がございます。GビズIDの取得はhttps://gbiz-id.go.jp/top/でご確認ください。

【注意】次の場合は、補助対象となりません!
・新たな事業場・新たな生産ラインへヒートポンプを導入する場合
・ヒートポンプを対人空調のみに使用する場合
・冷却専用または冷却用途と加熱用途を切り替えて使用する等、年間を通じて加熱用途に使用しない場合

お問合せ先（産業ヒートポンプ）

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター　Tel:03-6661-1421

受付時間:10:00～11:30、12:30～17:00（土・日・祝 8/16を除く）

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

ヒートポンプ・蓄熱月間実行専門委員会 事務局
〒103-0014　東京都中央区日本橋蛎殻町1丁目28番5号 ヒューリック蛎殻町ビル6階
Tel：03-5643-2401　Fax：03-5641-4501　https://www.hptcj.or.jp

「ヒートポンプ・蓄熱月間」感謝状贈呈先

ヒートポンプ・蓄熱普及貢献賞

蓄熱システムをはじめ、高効率ヒートポンプ等に関して「育てる」、「拡める」、「活かす」というさまざまな観点から、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に貢献いただいた 37 企業・団体の皆さま

北海道

三菱地所株式会社 様
株式会社三菱地所設計 様

国内初の高層ハイブリット木造にヒートポンプ空調を採用し、サステナブルホテルを実現

北海道

北電興業株式会社 様

寒冷地の特性に合わせた汎用性の高いエネルギーシステムを採用し、テナントビルのZEBを実現

北海道

株式会社ラルズ 様

既存店舗の改装に合わせてヒートポンプ空調を導入し、脱炭素化と省エネルギー化を推進

北海道

株式会社ダイイチ 様

「十勝」生まれのスーパーがヒートポンプ電化を採用し、毎日の豊かな食生活をお手伝い

東　北

医療法人誠仁会 様
『尾野病院』

地域に根差した病院として,ヒートポンプの活用による快適な慢性期医療および高齢者医療の空間を提供

東　北

西和賀町 総合給食センター 様

オール電化システムを導入し給湯には業務用エコキュートを採用。省エネルギー・環境保全・ピーク時間帯の電力使用量削減を実現

東　北

社会福祉法人 慶和会 様
ケアハウス『花いちもんめ』

ヒートポンプの活用で、「安心の和の中、友人の笑顔に囲まれ心落ち着ける空間」を提供

東　北

医療法人社団悠愛会
介護老人保健施設メルヘン 様

高効率ヒートポンプ空調の導入により、大幅な省エネルギー・CO_2削減を実現

東　北

富岡町 様
『共生サポートセンターさくらの郷』

業務用ヒートポンプ給湯機とヒートポンプ空調の導入により、大幅な省エネルギーとCO_2の削減を実現

東　北

社会福祉法人豊聖福祉会 様
特別養護老人ホーム『ながうらの郷』

ヒートポンプを有効活用と運転改善により、大幅な省エネルギーを実現

関　東

高田製薬株式会社 様

ヒートポンプを有効に活用し、廃熱を回収することで大幅な省エネルギーを実現

関　東

日本リート投資法人 様

ヒートポンプの積極的な導入による、大幅な省エネルギーを実現

関　東

OBARA株式会社 様

古年式ガスヒートポンプから高効率電気式ヒートポンプシステムへの更新により省エネルギーを実現

関　東

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
埼玉県済生会鴻巣病院 様

環境省の補助金を活用したモジュール型ヒートポンプの採用により、優れた経済性・環境性を実現

北　陸

株式会社とやまヒューマンサービス 様

高効率ヒートポンプ導入促進補助金を活用し、電気温水器からの更新により大幅な省エネルギーを実現

中　部

株式会社義津屋 様

吸収式空調設備をヒートポンプへと更新することにより大幅な省エネルギーを実現

中　部

豊田合成株式会社 様

塗装乾燥工程への高効率ヒートポンプの導入により、エネルギーロス・CO_2排出量を低減

中　部

御前崎市学校給食センター 様

業務用エコキュートの導入により省エネルギーと省コストを実現

中　部

中電不動産株式会社 様

ヒートポンプの継続採用による普及啓発により、省エネルギーやピーク電力削減に貢献

関　西

キッコーマン食品株式会社 様
『高砂工場』

吸収式からターボ冷凍機への更新により、大幅な省エネルギーを実施。

関　西

泉北ビル株式会社 様

空冷式ヒートポンプチラーの採用で、大幅な省エネルギー、省コスト、CO_2排出量削減を実現

関　西

社会医療法人 誠光会 様
『淡海ふれあい病院』

空冷式ヒートポンプチラーの採用により、大幅な省エネルギー、CO_2排出量削減を実現

関　西

株式会社マルアイ 様

ヒートポンプと蓄熱システムの採用によりエネルギー利用効率の向上と負荷平準化を実現

関　西

東京建物株式会社 様

分譲マンションへのエコキュート採用による省エネルギー・環境保全への多大なる貢献

「ヒートポンプ・蓄熱月間」感謝状贈呈先

ヒートポンプ・蓄熱普及貢献賞

蓄熱システムをはじめ、高効率ヒートポンプ等に関して「育てる」、「拡める」、「活かす」というさまざまな観点から、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に貢献いただいた 37 企業・団体の皆さま

関　西
大阪市 様
『大阪市舞洲障がい者スポーツセンター（アミティ舞洲）』
複数帯水層に冷暖房排熱を季節間蓄熱する帯水層蓄熱冷暖房の導入により省エネルギー、省CO_2を実現

中　国
ダイキン工業株式会社 様
ヒートポンプと蓄熱システムの有効活用により、大幅な省エネルギーを実現

中　国
株式会社ホテルー畑 様
BCPを考慮した、ハイブリッド給湯設備に業務用エコキュートを採用

中　国
宇部市 様
環境に優しい庁舎づくりに、水蓄熱システムを採用

中　国
株式会社フリート 様
『ラインヴァント東雲』
『ラインヴァント海田南堀川』
『ラインヴァント南観音』
エコキュートを採用した次世代省エネマンションの普及拡大

四　国
株式会社轟組 セリーズ事業部 様
『セリーズ』
高効率ヒートポンプ空調・業務用エコキュートの導入により、省CO_2と省エネルギーを実現

四　国
株式会社ジェイコム 様
高効率ヒートポンプ空調・業務用エコキュートの採用により、大幅な省エネルギーに貢献

四　国
三豊市 様
循環加温ヒートポンプ給湯機と温水ボイラを併用したハイブリッドシステムの導入により、大幅な省CO_2、省コストを実現

九　州
プレットサンフーズ株式会社 様
蓄熱システムの導入と有効活用によりピーク電力の大幅な削減と省エネルギーを実現

九　州
医療法人 春陽会 様
『兵庫の郷』
ヒートポンプと蓄熱システムの有効活用により、省エネルギーを実現

九　州
社会福祉法人 大分福祉会 様
『アルメイダメモリアルホーム』
環境負荷の軽減と省エネルギー性に優れた業務用エコキュートを導入

沖　縄
医療法人 南嶺会 様
『勝連病院』
省エネルギー性・経済性に優れた業務用ヒートポンプ給湯機の導入

特別感謝状

未利用エネルギー等を活用した高効率ヒートポンプシステムを導入された 11 企業・団体の皆さま

北海道
大樹町役場 様
新庁舎の空調に地中熱ヒートポンプを全面採用し、寒冷地の特性に合わせたZEB技術でZEB Readyを達成

東　北
株式会社伊徳 様
『いとく追分店』
未利用エネルギーとヒートポンプを活用した全国初の冷凍システムにより，省エネルギー・省コストを実現

東　北
利府町 様
利府町文化センター『リフノス』
地中熱ヒートポンプシステムの導入により、省エネルギー・環境負荷低減に貢献

東　北
長井市 様
『市役所 庁舎』
未利用エネルギーである地下水を利用したヒートポンプ空調システムにより、環境負荷低減に貢献

関　東
宇都宮脳脊髄センター・シンフォニー病院 様
クラフトワーク株式会社 様
JR宇都宮駅東口地区整備事業における高度専門医療病院への地中熱利用ヒートポンプの導入

関　東
株式会社サンニチ印刷 様
地下水を利用した空調システムの導入により大幅な省エネルギーを実現

北　陸
越前市 様
井水再利用システムを導入し、井水を熱源とした空調設備とすることで省エネルギーを図る

中　部
常盤工業株式会社 様
井水熱利用ヒートポンを採用し、大幅な省エネルギーを実現

中　部
ロート製薬株式会社 様
『上野テクノセンター』
地中熱利用ヒートポンプ導入によるCO_2排出量削減、省エネルギーの実現

九　州
薩摩川内市 様
『SSプラザせんだい』
太陽光発電に加え次世代エネルギーシステム（蓄電池システム、地中熱を利用した水熱源空調設備、EMS）を導入、大幅な省エネルギーを実現